

斐太北小 ESDだより

Education for Sustainable Development (持続可能な社会の創り手を育む教育)

斐太北の教育 説明書 — 150 年目の出発点 —

本校は今年、創立 150 周年という大きな節目を迎えました。150 年という歳月を地域と共に歩み、多くの子どもたちの学びと成長を育んできたことは、何よりの誇りです。そして、今年この斐太北小学校で学び・働き・関わる私たちは、そんな長い歴史のバトンを受け継ぐ、かけがえのない「今」を生きています。

さらに今年、新たにユネスコスクールに登録されました。これは、持続可能な社会をつくる学び＝**ESD (持続可能な開発のための教育)**を柱に据え、地域資源を活かした探究的な学びを全校で推進していくことが、国内外から認められたことを意味します。この記念すべき年に、妙高型イエナプラン教育と ESD の実践を軸に、「一人ひとりが主人公となる学び」をさらに広げていくスタートを切る——これは偶然ではなく、むしろ斐太北の歩みにふさわしい必然だったのかもしれない。

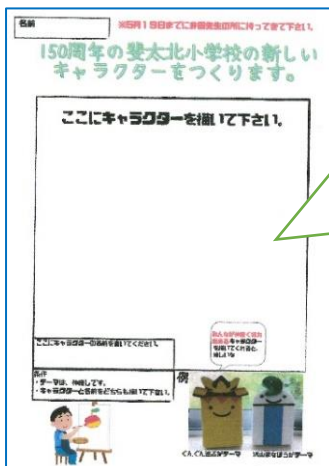


今年は、各学年の「みらい学習」や異学年交流活動、委員会活動等、学校生活のあらゆる場面において「150 周年」を意識し、結びつけ、問い続けていきたいと思います。「私たちの学校は、どんな歩みを重ねてきたのか」「次の世代に、どんな学校を手渡していきたいか」——そうした問いを子どもたちが自らの言葉で考え、語れるような学びを、教職員全員でつくっていきます。私たち大人にとっても、この 150 周年は、教育のあり方を見つめ直し、新たな一歩を踏み出す好機です。

「今年、斐太北小にいたことが幸せ」「この学校に関わってラッキー」

そう思える子どもと大人が一人でも多くなるように、共に学び、共に考え、共につくる一年にしていきたいと思います。

地域の皆様、保護者の皆様とともに、このかけがえのない時間を心に刻み、未来(みらい)へつないでいきましょう。



斐太北小キャラクター「たくさんまなぼう」(勾玉を付けた消しゴム)と「ぐんぐん遊ぼう」(鎧をかぶった鉛筆)に、新たに「なかよし」がテーマのキャラクターを 6 年生が中心になって募集していました。全校児童の投票により…本日決定しました。

明日の「創立 150 周年記念フレンドミッション」の開会式で披露します。どんな名前のどんなキャラクターに決まったのか、お楽しみに！

みらい学習紹介

～地域に学び、地域を愛し、地域で育つ子ども～

4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



斐太北小学校の教育の中核となる「みらい学習」の学年テーマが決まりました。地域に飛び出し、地域の中で学ぶ子どもたちに、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

1年 だれにでもやさしく みんなとなかよし

周りのひと・もの・こととかかわり合いながら、思いやりのある行動をする子を目指します。そのために、夢中になって活動する楽しさや生命の大切さについて学ぶ中で、友達と協力したり、いいところを見つけ合ったりする活動をたくさん行っています。4月は4年や6年と交流しました。5月16日に保育園で校歌を歌ったり音読を発表したりしてきました。「楽しかったあ」「もっとやりたい」が膨らんでいます。

16 平和と公正を
すべての人に



2年 見たい！知りたい！挑戦しよう！

野菜づくりと町探検を中心に活動していきます。野菜を育てたり地域のよさを見つけたりしていく中で、自分の願いをもち、地域や保護者の方々、友達など、様々な人と触れ合い、斐太のよさやあたたかさを感じるとともに、地域の愛着をより一層深める姿を目指します。「自分の言葉で考える、表現する、伝える」ことを重視しながら活動をしていきます。5月15日には、野菜の苗買い＆苗植えをしました。

2 飢餓を
ゼロに



3年 斐太のお宝見付けよう！発信しよう！

史跡や文化財、自然や企業（企業で働く人々）など、自分たちの暮らす地域の「お宝」を知り、その価値に気付くことができるような活動をしていきます。そして、「自分が見て・聞いて感じたことを表現すること」を大切に、発見した斐太の「お宝」を様々な方法でまとめ、発信します。創立150周年を迎えた歴史ある斐太北小学校のことも調べていきます。

11 住み続けられる
まちづくりを



4年 川と遊び、川に学び、川と生きる

斐太校区に流れる川を探検しながら、周囲の自然や生き物、人々の暮らしなどについて体験を通して複合的に学んでいきます。体験から感じたことを新聞等でまとめ、自分たちの活動を振り返ることで、「川とともに生きる」とはどうすることか考えていきます。4月24日にCSの太田さんと石川さんから、子どもの頃の川遊びや周辺の生き物のことをお話いただきました。5月15日に早速川探検1回目に行きました。

11 住み続けられる
まちづくりを



5年 ^{こめ}かき米！^{こめ}愛を米て作った ^{こめ}あおぞら米！ ～目指せ！1等米～

米作りを通して地域の良さや課題に気付く、自分にできることを考え、生活に生かそうとする子を目指します。そのために、地域の方との交流や調べ学習から、自分たちにできることを話し合い、実践します。そして、生産者と消費者の立場を経験し、様々な角度から地域や自分自身を見つめ直します。清瀬市立芝山小と交流し、「多面的・総合的に考える力」を大切に、自分はどう考えるか、自分には何ができるかを追求します。

12 つくる責任
つかう責任



6年 ふるさと～今を生きる「わたしたち」、 過去から学ぶ「わたしたち」、これから生きる「わたしたち」～

わたしたちにとっての「ふるさと」を、現在・過去・未来の視点から見つめ直し、様々な地域や学校とかかわることから、ふるさとのために自分のできることを考えます。いろいろな人とのつながり、体験活動を大切に、「比べて考えること、確かめること」を大切に、出合った事象を自分事として捉えて追求していきます。

11 住み続けられる
まちづくりを

